



横浜バッドジュニア バレーボールクラブ

設立。現在、区内外の15校の子供達38人が参加し、週に3回区内各小学校の体育館などで練習しています。コーチの多くがVリーグのOBだとか。チームの成長は自覚し、男子チームの「横浜バッドキング」は昨年度、関東大会第3位とい



5日のモルテンカップ優勝目指し、練習にも熱が入る

段から周りの人に対して感謝の気持ちを教えること、指導していきなす。「周囲を思いやることで自分の役割が見えてくるんです」。

「はいっ!」「はいっ!」。元気な声が体育館に響いています。これは「横浜バッドジュニア」の練習中に聞こえる声。「Bud」とはつぼみ、意。大人のチームを花と考えると小学生は成長過程のつぼみ。やがて花開く姿に願いを込めたそうです。練習は、ゲーム感覚のウォーミングアップから。ボールを使った鬼ごっこでは無いためにバレーが出来ない子がいる。そんな子達の受け皿になり、バレーボールの底辺を拡大できた。との思いから、平成17年に鶴見区初の小学生チームを



気合もチームワークもばっちり!がんばるぞ!

「楽しんでますね」と女子監督の秦恵子さん。が大事です。練習メニューは、自然に身につくよう考えられているのです。基礎練習が始まりました。初心者には小さなおもちゃのボールをキャッチ。少し大きいボールをひざで止める練習。できた!「あどけない笑顔が印象的です。楽しんでますね」と女子監督の秦恵子さん。

ボール見つめる輝く瞳 感謝の心で名選手に

「かほ!」「かな!」「こち!」ボールを叩いている仲間、声や拍手で次にパスする場所を教えます。普

上級生の練習は本格的。子供達の目はボールから片時も離れることはありません。上級生の練習は本格的。子供達の目はボールから片時も離れることはありません。上級生の練習は本格的。子供達の目はボールから片時も離れることはありません。

「みんなで必死につないだボールで点が入ると嬉しい。目標は県大会でベスト8目指します」と教えてくれました。夏はパーベキュー、冬にはボーリングとバレー以外の楽しみも。秦さんは「大人になってもチームワークを忘れないで欲しいです」。

(池谷須美子)

チームではメンバー募集です(特に4年生以下の男子歓迎)。問い合わせは秦さん ☎090・98330・0001 またはEメール ybudi@bc.zg.ne.jp you. ip.mae.